

病害虫防除技術情報第 1 号

令和 3 年 4 月 1 日

三重県病害虫防除所

本年はムギ類の開花が早い予想です。ムギ赤かび病の防除は、適期を逃さず、開花始めから開花盛期に行いましょう！

1. 対象作物： ムギ類
2. 対象病害虫名： ムギ類赤かび病
3. 生育と気象の状況

本年のムギ類の生育は昨年秋から気温が高く推移したことから、**出穂期は平年より早く**、農業研究所(松阪市)11月12日播種の「あやひかり」では3月29日に出穂を確認しました。平年より13日早くなっています。

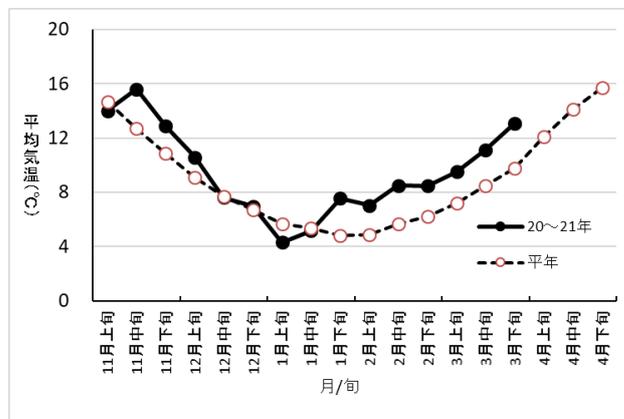


図 アメダスポイント津における旬平均気温の推移 (2020.11~)

ムギ類では開花から10日前後の間が赤かび病に最も感染しやすく、この間に降雨があつて気温が20~27℃の時に感染が激しくなります。1か月予報(3月25日・名古屋地方気象台発表)によると、向こう1か月の平均気温は平年より高く、特に期間の前半はかなり高くなる予報です。降水量は平年並、日照時間は平年並の見込みです。出穂および開花の時期を把握するとともに、今後の天候に注意してください。

赤かび病は、開花期に降雨があり、気温が高いと感染し発生しやすくなります。

4. 防除対策

- (1) 防除適期は開花始めから開花盛期です。開花前、あるいは開花後の薬剤散布では防除効果が劣ります。薬剤は三重県農薬情報システム(https://www.nouyaku_sys.com/noyaku/user/top/mie)で検索することができます。
- (2) 圃場をよく観察して、播種時期ごとに出穂および開花状況を把握し、薬剤散布を行ってください。ムギの開花は出穂期の約7~10日後ですが、高温の場合は早まる場合もあります。
- (3) 開花期以後に降雨が続き、気温が高く推移した場合は、開花期防除の7~10日後に追加防除を行いましょ。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。